

躍動

扇の要として投手陣を巧みにリードした捕手草。三回に安打を放つなど、攻守両面で躍動した。



結束

チームは選手全員が島出身。早く结束して昨秋の近畿王者を相手に善戦した。

甲子園に吹いた「春一番」

壱岐の「春一番」が甲子園を爽やかに吹き抜けた。横浜(神奈川)の19年ぶりの優勝で幕を閉じた第97回選抜高校野球大会。21世紀枠で初出場した壱岐は、1回戦で東洋大姫路(兵庫)に2-7で敗れたが、昨秋の近畿王者から先制点を奪い、最後まで諦めずに戦い抜いた。アルプススタンドには、島民らが集結して選手たちを後押し。甲子園は壱岐市の人口(約2万4000人)をはるかに上回る約4万人の観客で埋め尽くされた。夢舞台を思い切り楽しんだ島っ子の一日を写真で振り返る。
(甲子園取材班)



粘投

粘り強い投球を見せた浦上(上)と日高。日高は4回を1安打1失点と氣を吐いた。

壱岐 楽しんだ夢舞台



応援

一塁側のアルプススタンドには島民ら約3000人を超える関係者が集結。大声援で選手たちを後押しした。壱岐は「応援団賞」の最優秀校に選ばれた。



堅守

堅実な守備を見せて二塁中止。昨秋の県大会から好プレーで何度もチームを救った



先制

難敵を相手に一回、2点を先発。5番山口の放った右前適時打はチームの記念すべき甲子園初安打となった。

長崎県立
壱岐高等学校

百年の歴史と伝統を紡いできた甲子園。本校野球部は第97回選抜高等学校野球大会で念願の初出場を果たし、その聖地を踏みしました。初戦、二回戦の攻撃前には校歌が響き渡りました。春分の日、対戦相手が地元の高校とあり、全席指定となつて以降初の完売通知が出ました。アルプス四千席に加え、内外野席にも縁故ある方々が詰めかけ、力強く、温かいご声援をいただきました。選手たちは大観衆に恵むことなく、平常心でプレーできたことが自信となり、夏に向けて、一層の精進を続けるでしょう。「壱岐から甲子園」を合言葉に集まつた島の子たちの大冒険。願いは叶うことを示してくれた選手たちを誇りに思うとともに、彼らを優しく見守り、物心両面で背中を押していただいた皆さまのお陰と深く感謝しております。なお、ご寄付をいたいた中で、お名前しか把握できていない場合が多く、お礼状を後日ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

紙面を借りて取り急ぎ甲子園出場にかかるお礼のご挨拶とさせていただきます。

令和7年4月吉日

長崎県立壱岐高等学校野球部
特別後援会

名誉会長
壱岐高校野球部OB会長
壱岐高校同窓会会長
壱岐高校PTA会長
壱岐高校野球部保護者会長
壱岐高校校長
桑原鉄次

甲子園出場への
ご支援ご声援
ありがとうございました!

